



特別展のみどころ

「恐竜の成長」 —その鍵を握る! 4つのFACT!!

FACT.1 ティラノサウルス

世界最大級の肉食恐竜・ティラノサウルス。その成長の秘密は、食事などの生活様式にありました。本展最大のみどころである「世界最大のティラノサウルス実物頭骨化石」の他、とても珍しいティラノサウルスの歯形がついたトリケラトプスの骨盤化石も展示します。

FACT.2 トリケラトプス

トリケラトプスは3本の角と大きなフリルを持つ植物食恐竜で、ティラノサウルスと同じ時代に生きていました。子どもから大人まで、連続した成長段階のトリケラトプス標本群を通して、その角やフリルの形が変化する様子を解説します。

FACT.3 ヒパクロサウルス

ヒパクロサウルスは白亜紀に繁栄したハドロサウルス類の植物食恐竜で、トサカのような頭は「音を出す」器官であったと考えられています。成長段階で形が違うヒパクロサウルス頭骨を展示するとともに、空洞から出る音の違いについて、ロボットを交えて紹介します。

FACT.4 パキケファロサウルス

パキケファロサウルスは、ヘルメットのような頭を持つ恐竜(堅頭竜類)です。従来、別種と考えられていた3種の堅頭竜類が、新説によりパキケファロサウルスの成長段階の違いであると考えられるようになりました。その根拠となる標本を展示します。



▲ティラノサウルスロボット

鳴く!動く!食べる!! 全長12mの動くティラノサウルスロボット!!

ホーナー博士監修による、動く恐竜の復元ロボットも登場。ティラノサウルスの噛み比べや、人が近づくと威嚇するトリケラトプスなど、10体の精巧な恐竜ロボットを展示します。



▲トリケラトプス復元画
画/山本匠



▲パキケファロサウルス復元画
画/山本匠



講座・イベントの案内

1 第29回地球科学講演会「恐竜研究の最前線」

日時 5/13(日) 14:00~15:30 場所 常設展内 本館 講堂
講師 福井県恐竜博物館 柴田正輝研究員
参加費 無料(入場のために、特別展観覧券または常設展入場料が必要)
内容 福井県や東南アジアの恐竜化石発掘で活躍中の講師から、恐竜研究の醍醐味や研究の最前線の話まで講演。

2 ミニワークショップ「実演!!はっぱの化石クリーニング」

日時 5/19(土) 11:00~12:00、13:15~14:15、15:00~16:00
場所 常設展内 本館 第二展示室
参加費 無料(入場のために、特別展観覧券または常設展入場料が必要)
内容 恐竜がいた時代の化石を、ハカセがクリーニング。

3 「おしえてハカセ!きょうりゅうニュース」

日時 5/26(土)・27(日)、6/2(土)・3(日) 11:00~、13:30~、15:00~
場所 常設展内 本館 第二展示室
参加費 材料費200円(入場のために、特別展観覧券または常設展入場料が必要)
内容 ハカセと一緒に展示ツアーに行き、最新の恐竜ニュースやクイズを楽しもう。定員は各回15名。スタートの15分前から本館ナウマンゾウ前で受付。
対象 小学生以上

4 きょうりゅう折り紙をつくろう!

日時 5/13(日)・27(日) 場所 本館 集会室
参加費 無料(入場のために、特別展観覧券が必要)
講師 日本折紙協会大阪支部 土戸英二氏
内容 恐竜展の中で出会う恐竜を折り紙で作ります。5/13はティラノサウルス、5/27はトリケラトプスを作ります。定員は各回10名、当日開始30分前から整理券を配布。対象 小学生以上

◆ 学芸員のおススメコレクション ◆

大阪市立東洋陶磁美術館 「鉄砂草花文壺」

胴部を埋めつくす元気のいい花は、春の陽気に誘われて、ポンポンと音をたてながら弾け開いたかのようです。茎の下の髭(ひげ)状の根は、土に隠された部分も元気だぞ、と言いたいのでしょう。17世紀には中国から青花の顔料であるコバルトの輸入が中断したため、鉄絵による鉄砂の技法が盛んとなりますが、本作品は鉄砂の奔放な筆使いがよく発揮されています。器形は、文様とあまってバランスが取れ、安定感を感じさせます。さらに、鉄砂壺にはめずらしい肌の白さによって、草花の姿がいつそう映えています。リニューアルされたLED照明の下で、高麗青磁や青花、白磁などの名品とともに楽しみください。

(大阪市立東洋陶磁美術館学芸員 鄭銀珍)

※今回ご紹介した作品は、平常展・安宅コレクション韓国陶磁<平成24年4月7日(土)~7月22日(日)>にて展示いたします。

大阪市立東洋陶磁美術館 所在地 〒530-0005 大阪市北区中之島1-1-26(大阪市中央公会堂東側)
TEL 06-6223-0055 FAX 06-6223-0057 アクセス 京阪中之島線「なにわ橋」駅下車すぐ、地下鉄・京阪本線「淀屋橋」1号出口 ホームページ <http://www.moco.or.jp>



鉄砂草花文壺(朝鮮時代・17世紀後半)

8ON The Osaka Museums' Network [エイトオン]

★ 8ONのメンバーは…
大阪市立東洋陶磁美術館 / 大阪市立科学館 / 大阪市立美術館 / 天王寺動物園 / 大阪城天守閣 / 大阪歴史博物館 / 大阪市立近代美術館建設準備室 / 大阪市立自然史博物館